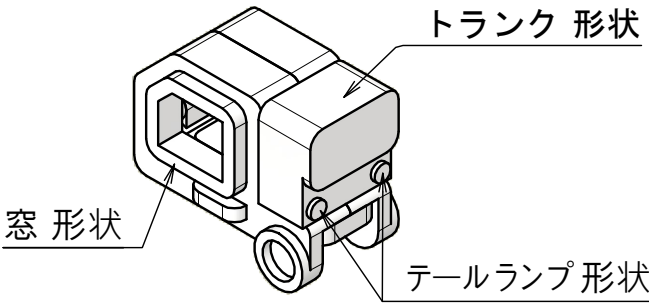
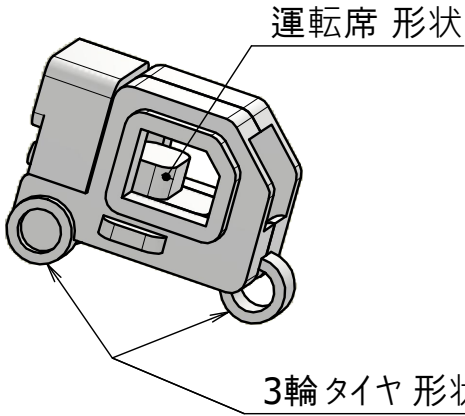


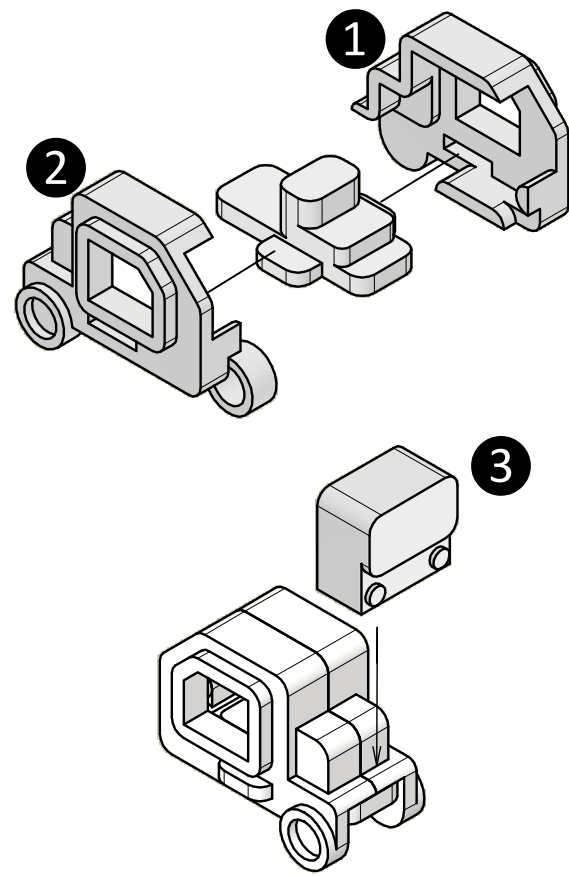
課題の特徴（形状や組立機構の魅力、加工難易度）

形状や組立機構の魅力など

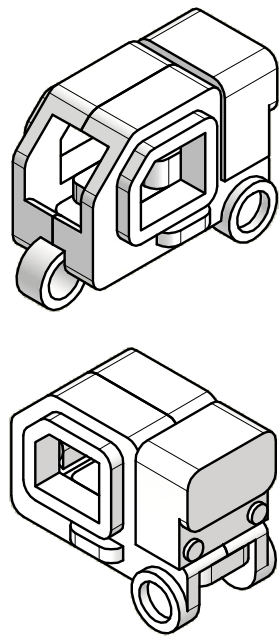
- デザイン
 - ・トライク型のパーソナルモビリティをイメージして作成しました。
 - ・タイヤやテールランプ形状を設け、モビリティらしさを表現しました。
 - ・さらに一人乗り用の座席形状や大きな窓形状をデザインすることでパーソナルモビリティであると分かりやすい課題になっています。
- 測定について
 - ・底R形状を無くすことで、測定できる箇所を増やし採点の幅を広げました。
 - ・底R形状を無くすことで、測定を行いやすくしています。
- 組立寸法について
 - ・2つのロック機構によって全パーツが固定されるため全選手共通の状態で測定が行えます。
- ゲートについて
 - ・ゲート設置可能面を各パーツで3面以上確保し新レギュレーションに対応した形状となっています。



【組立手順】



【提出組立状態】

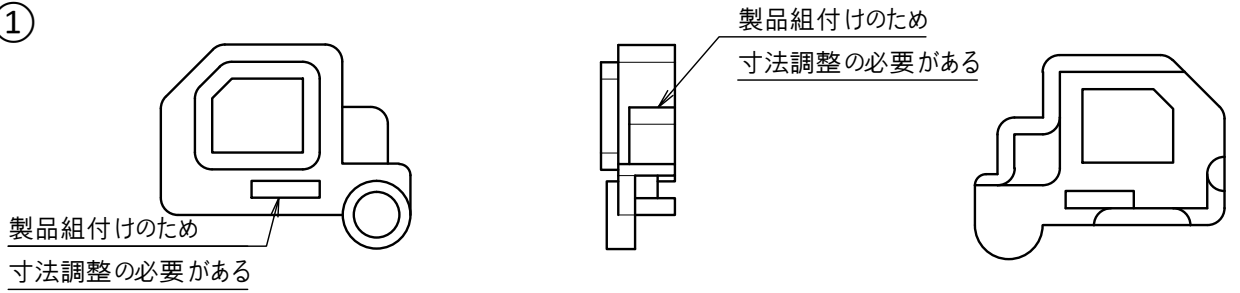


加工難易度など

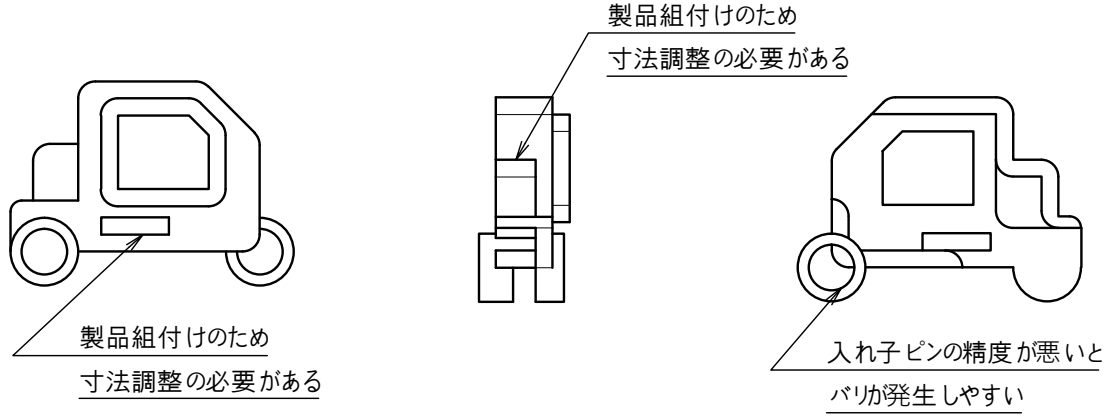
- 課題ボリュームとして
 - ・第62回大会課題（産業用ロボットH）と面の数を同等程度に設定したため加工ボリュームの差はないと考えています。
- 課題のレベル
 - ・直近の過去課題で採用の少なかった円筒形状を追加することで磨きの更なるレベルアップを測ることができると考えます。
 - ・金型勘合部が多いため寸法精度に関する技能の差が出やすくなるよう設計しました。

【各部品について】

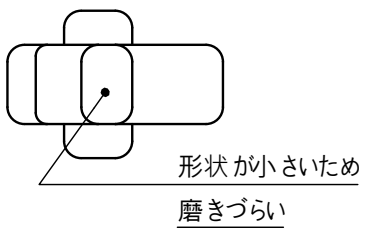
部品①



部品②



部品③



部品④

